



4年4組を担当した地域講師のみなさんと児童の集合写真

# 「しめ縄体験学習」の開催



世帯数 5,968戸  
人口 14,271人  
(平成31.1.1現在)

寿地区学校応援団事業として寿小学校4年生を対象とした『しめ縄体験学習』が11月26日(月)に行われました。当日は23名の地域講師の方々が4クラスに分かれ、班ごとに1名の地域講師がついて指導にあたりました。

この学習は地域の伝統を伝える機会になつているとともに、地域住民と子どもたちが向かい合いながら交流する機会にもなつていきます。同時に核家族が多い現代社会において、子どもたちが地域の『ひとやもの』を知ることが出来る貴重な場にもなつていっていると感じます。

慣れないしめ縄づくりに子どもたちも四苦八苦していましたが、最後に自分で結つたしめ縄に紙垂を飾り完成させて、とても満足そうな笑顔をみせていました。

地域講師の皆さんには、後日子どもたちから『最初は上手に出来なかつたけど丁寧を教えてもらつて出来るようになった』『作つたしめ縄を家に飾ることがとても楽しみ』『優しくほめてくれてうれしかった』など心のこもつたお礼の手紙が届きました。

ご協力していただいた地域講師の皆さん、本当にありがとうございます。

## わがまち紹介



今回は白川町会の百瀬司郎さんに白川町会を紹介していただきます。

白川町会は現在450戸ほどの町会で9つの常会に分かれて活動しています。町会としての活動も活発で各種催し物が行われています。毎年お盆に開催される夏祭りは大勢の町民で賑わいます。また、敬老会・ゴルフコンペ・お十夜・しめ縄講習会・カラオケ大会など多くの町会独自の行事で町会の皆さんの親睦を図つたり伝統を繋いだりしています。先日の蕎麦打ち講習会では蕎麦を打つのはもちろんですがフォークダンスを鑑賞する宴とのコラボで例年より多くの皆さんにお集まりいただき楽しいひと時を過ごすことができました。

このような町会運営のなかで課題も見えてきました。それは寿地区の他町会に比べて急速に高齢化が進んでいるという問題です。この問題について町会役員でグループ討議

## 松本体育協会精励表彰受賞!!



お二人の活躍をさねていきます。お二人の活躍から期待される活躍に期待します。

寿体育協会理事の林成一さん(小池町会)・橋渡洋一さん(小池町会)の2名が11月26日(月)に、平成30年度松本体育協会精励表彰を受賞されました。

お二人は、平成20年から現在まで寿体協理事として活動を牽引していただいています。特に林氏はソフトバレーボール部長として、橋渡氏はソフトボール部長として専門部でも活躍をされています。

を行いました。そこではゴミ出しに困難を抱えている高齢者への支援について話し合いが持たれました。防災の面からも日頃からの近所との関わりの必要性が議論されました。

こうしたさまざまな取り組みの中で町会の皆さんが過ごしやすい町づくりを進めていきたいと考えています。

(館報編集委員 百瀬 肇)

### 晴天の下、第41回寿地区文化祭と第7回寿地区福祉の文化祭が開催されました！

平成30年11月10日(土)に、第7回寿地区福祉の文化祭が、10日と11日(日)には第41回寿地区文化祭が晴天の下、寿公民館・寿体育館・寿地区福祉ひろばをメイン会場に盛大に開催されました。



筑摩野中学校合唱部と吹奏楽部によるステージ発表

第7回寿地区福祉の文化祭について紹介します。この文化祭は、「誰もが安心して暮らしやすい街づくりを進めていくために、寿地区の皆さんや福祉に関わる方々が一堂に会し、障がいのある皆さんや子供たちが互いに交流を深め、互いを知るきっかけとする」ことを目的に平成24年から実施されています。今年も「蟻ヶ崎高校書道部」の筆入れをする久保田実行委員長



筆入れをする久保田実行委員長

の皆さんによる書道パフォーマンスで始まりました。会場内には6つの施設の作品展示や施設紹介コーナーなどがあり、今年の新企画として公民館サークル「寿書友会」による書道体験コーナーなど盛りだくさんの企画となりました。参加者470人による「全員参加！ふれあいトントン」で交流の輪を広げました。その後、グラウンドフィナーレでは福祉の文化祭のテーマソングである「この街に生きて」を参加者全員で大合唱し終了しました。



ふれあいトントンで交流の輪を広げました！

(館報編集委員)

百瀬 肇

### 体協屋台村の紹介！

寿体育館南側駐車場で行われた寿体育協会屋台村と豚汁の無料配布の様子を紹介します。この屋台村は寿体育協会の役員と筑摩野中学校の生徒の皆さんが材料の仕入れから運営に至る全てを担当して、焼きそば・焼き鳥・綿あめ、焼きそばと焼き鳥の焼ける香ばしい匂いが食欲をそそるのか、オープニング当初から長い列ができ、焼き鳥にいたっては午前中で完売の状態でした。また、綿あめも特に子供連れの家族に人気があるようでした。



豚汁については野菜の高値が続いているため材料集めに苦労されたようですが、地域の方々による野菜の寄付のおかげで問題なく開催できました。味の方も絶品で文化祭に来場された皆さんからは大人気でこちらのほうも午前中には終了しました。材料の手配や前日から材料の仕込みに尽力いただいた役員の方々に大変御苦労様でした。

(館報編集委員)

百瀬 肇

### かかし祭りによせて

今年で12回目を迎えた『かかし祭り』にはここ数年では最多数となる22作品の出展がありました。制作に参加された方々や関係者の皆様には心より御礼申し上げます。



今年もテレビ、アニメのキャラクタからオーソドックスなものまで多彩なかかしが揃い、きつと子どもたちと大人の間で多くのやりとりを交わしながら制作をしたのだと想像できるほど素晴らしい仕上がりでした。

元来かかしは、我々の主食である米(稲)に害をなす鳥などから田を守る蛇が神格化されて、さらに人の形に変化したものです。このようなわれも継承しながら来年もかかし祭りが開催されることを楽しみにしています。

(子ども会育成会環境部)

藤井 健二郎

### 第30回寿地区史跡巡りに参加して(上瀬黒・下瀬黒コース)

史跡巡りに参加して特にすごいなあと思った場所は竜王の泉です。昔、この土地では雨が降ると洪水が起き、晴れが続くと日照りになったようです。日照りのときは山を登って竜王の泉で雨乞いをしたそうです。川もないのになぜ山の上にこんな泉があるのか？それは、牛伏寺断層の真上にあるため、断層の間から水がにじみ出ているからだと思います。



参加者の集合写真

泉の竜王社の左右には『鉢伏山神社』と『戸隠神社』の碑があります。なぜこの2つの碑があるのかというと、ここで雨乞いしても雨が降らなければ鉢伏山頂へ行き、それでも駄目なときはこの2つの神社から水を運んで雨乞いをしたからだそうです。自分の住んでいる地区の歴史を学ぶことが出来る楽しい一日でした。

(子ども会)

今井 悠真